

## ハネナシサシガメ

支笏湖鵜柵舞の森でこの秋に植苗する区画 6 の草刈をしていました。足元に変な虫が這っているのが目に止まりました。掴まえてデジカメで撮影したのが右の写真です。2015 年 8 月 21 日 9 時 22 分でした。ご覧のとおり腹部を覆う翅が全く見当たりません。帰宅後調べた結果ハネナシサシガメというそのものずばりの命名でカメムシ目サシガメ科に括られています。

サシガメ科の虫は肉食のハンターでして、図鑑「北海道の昆虫」には 3 種しか記載されていません。他の 2 種はモンシロサシガメとクロモンサシガメです。捕らえた小昆虫の体液を口吻を突き刺して吸い取る手口でありました。掴まえた時は手袋をしていたのですが、撮影する



にあたり肢をしっかりと掴むために素手でしたが、刺されなかったのは幸運だったことがわかりました。下手すりゃ口吻を突き刺されて痛い目にあうところでした。出現は 8～9 月。体長は 15～19mm。分布は北海道と本州、海外ではロシア、中国、朝鮮半島のようにあります。

この日の鵜柵舞の森は野イチゴの実が熟していて食べごろでした。酷暑の中汗だくの草刈作業でして水を頻りに飲みながらも、そこいらじゅうに目につく野イチゴをしばしば口に放り込んで甘ずっぱい味をも楽しんだのです。さて、このイチゴの本名は何かを調べてみました。クマイチゴといひます。ナワシロイチゴと思っていたのですが、比較写真をご覧いただくと分かりますが、葉の形をよくよくご覧ください。右が鵜柵舞に多いクマイチゴです。帰路につくまえ少し時間をとってイチゴ狩りを楽しんだ人もいました。

ちなみに秋には薬草のチョウセンゴミシが収穫できます。



ナワシロイチゴ



クマイチゴ